

1 第2次宝塚市労働施策推進計画(案)に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 産業文化部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 現状・問題点の「入管法改正もあり、外国人労働者が増加傾向である」に対する課題はどれか。「⑦障害(がい)者、外国人など多様な人材の就労促進」又は「⑩職場におけるトラブル防止と解決」に該当するように思うが。
 - ⇒ ともに当てはまると考えている。ダイバーシティの観点では⑦が該当し、かねてから問題となっている外国人労働者の言語や生活支援等の労働環境問題については⑩が該当する。少し分かりにくいので、こちらの意図が伝わるような書き方に工夫する。
- ・ 働く場の創出という観点から、ソーシャルビジネスについてはどのように考えているのか。
 - ⇒ それは商工や勤労施策に関する内容であり、今回の労働施策では触れていない。
- ・ 本編で第1次計画の取組に対する評価が記載されていたが、「概ね達成」といった少し抽象的な表現となっている。もう少し具体的な効果検証が必要ではないか。
 - ⇒ 第1次計画は各事業で指標を細かく設定していたため、全ての指標に対して詳細に記載することが難しく、そのような少し丸めた表現とした。第2次計画では指標も細かすぎないものに変更し、効果検証ももう少し具体的に行えるよう工夫したいと考えている。
- ・ 女性活躍等については、他施策との連携が重要であると思われるが、他部署との連携はどのように考えているのか。
 - ⇒ 子育てと仕事の両立という観点からも子育て施策とは大いに連携が必要であると考えている。また、子育て施策のみならず、本市の活性化や持続可能なまちづくりという広い視点での議論、検討が必要なことから、今後、地方創生に係る本部会議等で連携について議論できればと思っている。
- ・ 概要版にも少し意味が分かりにくい言葉があるため、本編同様、注釈をつけた方が親切である。
 - ⇒ 注釈をつけるようにする。
- ・ 女性のM字カーブ世代の労働力率の10年後目標値を74%としているが、本市は比較的富裕層が多く、就労を希望されていない女性も多くいる。一方で審議会等の女性の参画率は他市に比べて高く、女性の社会参加が積極的であることもうかがえる。このような本市の特徴を踏まえると、必ずしも就労のみに焦点を当てて考える必要はないのかと感じた。しかしながら、女性が社会に参画する中で就労に結び付くような施策は今後も必要であると思っている。
 - ⇒ 各市の事情はあるものの、本市の女性の労働力率は近隣市に比べかなり低い水準と

なっているため、担当部としては少しでも向上できればと思っている。

- ・ 本市の女性の労働力率が低い主な要因としては、女性の就労意欲が低いということか。
⇒ 一概にそうとは言えない。働きたくても子育てとの両立が難しい方等、事情は様々である。
- ・ 男女平等参画の観点から、男女平等に働けるような労働環境や休暇制度等が必要であるが、市内の中小企業についてはその理解や取組がまだまだ十分でないように感じている。そのあたりも分析することで、女性の労働力率についてさらに深く考えることができると思う。
⇒ そのあたりも今後分析していきたい。
- ・ 今後、行動計画のようなものを策定し、進捗管理を行うのか。
⇒ 新たに行動計画を策定し、進捗管理を行うことは考えていない。本編では各施策の取組内容や方向性を示しているため、取組状況については庁内照会のうえ、適宜進捗管理を行っていきたい。
- ・ 高齢者、障害（がい）者の仕事を増やしていくという点でも、今後さらなる連携をお願いしたい。
⇒ こちらこそ宜しくお願いする。
- ・ コロナによる影響についてはどの程度まで記載しているのか。10年間の計画であれば、ある程度はコロナを踏まえた内容にするべきである。
⇒ コロナについての直接的な記載はなく、コロナによる雇止めの懸念がある等の記載に留まっている。今後、さらに記載する必要が生じれば検討する。
- ・ コロナに関することをもう少し追記できないのか。
⇒ なかなか追記しにくいところもあるが、可能な範囲で調整する。

2 第2次宝塚市消費者教育推進計画（案）に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 産業文化部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ すみれ隊の年齢や性別等について教えていただきたい。
⇒ 男女の割合は半々ぐらいであり、年齢は高齢である。NPO法人消費者協会宝塚の方が多い。
- ・ 消費者教育の推進にあたっては、消費者自身が能力を向上させ自立した消費者になることが必要であるが、それに対する取組や消費者教育についてはどこに記載しているのか。
⇒ 主に第4章に記載している。消費者の学習機会を担保するため、市や関係機関・団体が実施する出前講座やセミナーを多く実施していきたいと考えている。
- ・ 高齢化が進んでいるNPO法人消費者協会宝塚への支援について何か考えているのか。
⇒ 問題意識が時代錯誤とならないことが重要である。若い世代にも注目してもらえる

ような取組を進めていけるよう連携していきたいと考えている。

- ・ 消費生活協議会委員についても女性をもっと増やし、かつ、選出を依頼する団体も同じところばかりではなく、消費を実践的に担っている団体（当事者）にお願いするべきである。

⇒ 女性の推薦については積極的に働きかけるとともに、団体についても今後検討する。

3 第2次宝塚市文化芸術振興基本計画（案）に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 産業文化部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 概要版の取組の方向性の（3）「ともに楽しむ」について、上段は「市民」とあるが、下段は「市民・来訪者」となっている。表現を統一するべきではないか。
⇒ 統一する。
- ・ 「創造力を育む」の説明に「年齢、性別、障害（がい）の有無や国籍等によって分け隔てなく」とあるが、敢えて記載する必要があるのか。
⇒ 文化芸術基本法から抜粋したものである。
- ・ 文化芸術基本法では「生まれながらの権利」とあるため、記載するのであればこの部分を強調した方が良いのではないか。
⇒ 検討する。
- ・ 概要版の取組の方向性の（5）「ともに発信する」について、「デジタルアーカイブ」という表現を追記した方が良いのではないか。
⇒ 検討する。
- ・ 概要版の取組の方向性の（3）「ともに楽しむ」について、「文化芸術を身近に感じられる」とあるが、少し抽象的な表現のように感じるため、「文化芸術を享受できる」の方が良いのではないか。
⇒ 検討する。

4 宝塚市観光振興戦略（案）に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 産業文化部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 概要版の戦略の位置付け図において、「分野別計画と連携」とあるが、議題3の文化芸術振興基本計画（案）では「密接に連携」となっている。表現を合わせた方が良いのではないか。

⇒ 表現を合わせる。

- めざすまちの姿を実現する前段において、「市民と来訪者のつながりをつくりながら課題①～③を解決」とあるが、来訪者の次に「(個人、法人、事業者等)」を記載した方が分かりやすいのではないかと。議題3の文化芸術振興基本計画(案)と合わせた方が良い。

⇒ 修正する。

- 基本方針(1)の清荒神清澄寺等の後ろに「(文化遺産)」を追記してほしい。

⇒ 追記する。

- コンセプトのウェルネスが観光分野だけでは収まらないような気がする。他の施策でもウェルネスにつながるものが多々あるように思われる。

⇒ 確かに観光分野だけにとどまらず、他の施策でも関連するものはあるかと思う。

- 策定の背景と目的に、「ウィズコロナ及びアフターコロナに対する戦略も加味した観光振興戦略を策定」とあるが、その内容を教えていただきたい。

⇒ 従来のようなインバウンドに対する戦略のみならず、近場の人をターゲットにしたマイクロツーリズムなどを考えている。

- これからの観光は遊び心をくすぐる要素が必要になってくると思われる。この戦略の中で遊び心はどのように記載されているのか。

⇒ 具体的な観光コンテンツは記載していないが、観光ニーズが多様化する中で、訪問型から体験型への志向が高まっていること等を踏まえ、心も体も豊かになるまちをコンセプトに来訪者の遊び心をくすぐっていきたいと考えている。

- 本市はロマンチックなイメージを持たれているため、恋や恋愛等で何か仕掛けを考えれば面白いと思う。仕掛けが大事であるため、色々と考えてほしい。